

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~2日	1月 ~9日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	9	19
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	8	0
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	5	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	7	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	0	2
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	0	0

* その他の2件はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第1週(1月3日~1月9日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2		1					1
三類	0	発生なし	0							
四類	1	つつが虫病	1			1				
五類	8	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		破傷風	1					1		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	5			2		2		1
新型インフルエンザ 等感染症	2,850	新型コロナウイルス感染症	2,850	484	205	114	30	1,707	174	136

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第1週に1,707件の報告がありました。1日の新規感染者数は、445人(1月10日発表)と過去最多であった205人(8月20日発表)を大きく上回り急増しています。また、1月4日～5日の変異株スクリーニング検査では、広島県内のオミクロン株疑いの割合が9割を超えています。

広島県が国に要請した「まん延防止等重点措置」は、1月9日から31日までの期間で適用されました。

基本的な感染防止対策に加え、外出の半減、出勤者の削減、市外との往來自粛、体調不良時の早期受診、PCR検査の積極的受検など、対策を徹底しましょう。

【参考】まん延防止等重点措置適用決定をうけて県民・事業者の皆様への要請【R4.1.7会見】(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20220107.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



2 感染性胃腸炎

定点当たり5.46人の報告がありました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

広島県実施のPCR等検査

※登録薬局の抗原定性検査が追加されました。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

PCR検査の実施について(広島県)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrcenter.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい
フィレン	インフルエンザ	-	-	6.90			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.12		急増減	増減	微増減	横ばい
小児科	咽頭結核熱	6	0.25	0.22			眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	0.29		前週と比較しておおむね1:2以上の増減			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.38	0.92				急性出血性結膜炎	-	-	0.03		前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減			
	感染性胃腸炎	131	5.46	3.48			基幹	流行性角結膜炎	2	0.25	0.40		前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減			
	水痘	7	0.29	0.32				細菌性髄膜炎	-	-	-		ほとんど増減なし			
	手足口病	38	1.58	0.20				無菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。			
	伝染性紅斑	-	-	0.10				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14		インフルエンザ定点数(小児科定点を含む) 37			
	突発性発しん	2	0.08	0.14				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		小児科定点数 24			
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.10				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09		眼科定点数 8			
												基幹定点数 7				

前週(第52週)は、年末年始の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、今週(第1週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	梅毒	2	2	30歳代、50歳代
5	破傷風	1	1	70歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	60歳代